



夫婦論

因畜有感

李 贄

夫婦は人の始なり。夫婦有りて然る後に父子有り、父子有りて然る後に兄弟有り、兄弟有りて然る後に上下有り。夫婦正にして然る後に万事正に出でざるは無し。夫婦の物の始為るや此の如し。極めて之れを言へば、天地は一夫婦なり、是の故に天地有りて然る後に万物有り。然れば則ち天下万物は皆兩に生じ、一に生ぜざるや明らけし。而るを又一能く二を生じ、理能く氣を生じ、太極能く兩儀を生ずと謂ふは何ぞや。夫れ厥の初、人を生ずるや、惟だ是れ陰陽の二氣、男女の二命のみにして、初より所謂一と理と無し、而るを何の太極か之れ有らん。今を以て之れを觀れば、所謂一なる者は果して何物にして、所謂理なる者は果して何くに在り、所謂太極なる者は果して何の指す所なるや。若し二は一に生ずと謂はば、一は又安く従り生ぜん。一と二と二為り、理と氣と二為り、陰陽と太極と二為り、太極と無極と二為り。反覆窮詰するも、是れ二にあらざるは無し、又烏くに所謂一なる者を觀て、遽爾に之れを妄言せんや。故に吾は物の始を究め、夫婦の造端為るを見るなり。

〔焚書〕卷三より